

2021年度 Seinan Millennial Project 成果報告書

取組名称	SGS Kakehashi Project
取組責任者	増田智久
取組担当者	小島慶華 西見彩 鬼海萌百花 多田遥香 畑田青海 ノキ田純加 藤井利瑛 村瀬 功 富永しいな 柿塚琴水 成富稀咲 仲山文乃 宮房明音 稲益朋実 那須麗海 正覚彩乃 安武奈月海 宮野真悠子 福山香鈴 松屋幸マリア



左上：ファーマン大学との交流会（2021年10月30日）

右上：学部留学生との交流イベント（2021年11月24日）

左下：SIFA 西南学院大学国際交流事業50周年記念イベント（2021年12月18日）

右下：SGSスタッフとSIFA イベント協力者（2021年12月18日）

1. 取組みの概要、および活動内容

<概要>

5W1H (who, where, when, what, why, how) を意識し、200~300 字程度で記入してください。

19 名の SGS のスタッフと 2 名の学生で、主に以下の 3 つの活動を行った。

- ① プロジェクト開始時よりホームページ構成とコンテンツ作成を行い、11 月に公開した。月間閲覧者数 1000 を目標に、SGS のイベント情報や SGS での活動報告、派遣留学の情報を公開している。
- ② 活動期間中に 250 を超えるデザインを作成した。イベントのチラシやスライドの作成、オープンキャンパスでの GSL の装飾の作成、SGS の Instagram の投稿の作成、国際センターの Instagram と YouTube の投稿の作成を行った。
- ③ 8 月から 12 月までの間で合計 20 回のイベントを実施した。英語学習者に向けた語学イベントや海外の派遣留学協定校の学生とのオンライン交流会を実施し、延べ 206 名の西南生、147 名の海外学生の応募を受けた。

<活動内容>

経費の有無に関わらず、本取組の活動内容を時系列で記入してください。

7月

プログラム採択時からホームページのレイアウトの構築を開始。

8月

語学イベントを 4 回実施。英語試験の IELTS のスピーキング対策とライティング対策を 2 回ずつ実施した。

9月

ベイラー大学と初回のオンライン交流イベントを実施（～2021 年 12 月、2022 年 2 月～5 月予定）。週に一度、SGS スタッフと日本語に興味を持つベイラー大学の学生、法政大学、東北大学の学生との交流会を行っている。

ファーマン大学と初回のオンライン交流イベントを実施。「International Coffee Hour」と題して、12 月まで、週に 1 度、合計 10 回実施した。

10月

ファーマン大学とベイラー大学との定期的なイベントを開催。

Canva Pro を活用して、オープンキャンパスに向けた飾り付けと SGS 紹介を作成した。現在も 3 号館で国旗の飾りと SGS 紹介のボードを掲示している。

11月

SGS のホームページを公開。教育研究推進機構のホームページ、SAINS ポータル、学外ホームページで広報を実施した。

InstaLive「派遣生に聞いてみた」シリーズを合計 13 回実施。本学国際センターの Instagram のアカウントで、派遣留学中の学生に留学生活や派遣先の新型コロナウイルスの状況などのインタビューを実施した。

12月

SIFA の「国際交流事業 50 周年記念イベント」を実施した。西南学院の卒業生や派遣留学の経験者と共に、高校生・在学生・卒業生に向けて、対面・オンライン形式でイベントを実施した。

「留学体験記」の動画を撮影・編集。派遣留学を経験した西南学院大学の在学生・卒業生にインタビューを実施した。

1～3月

留学情報のコンテンツを作成・公開した。現在派遣留学中のSGSスタッフ2名による「留学日記」を5本更新した。「留学体験記」の動画3本を国際センターのYouTubeとInstagramで公開した。

2. 得られた成果

<申請当初の目的・計画の達成度>

申請書の「3. 達成目標」と照らして、どの程度の達成度であったかを記入してください。

本プロジェクトの活動の当初の目的と計画は、以下の3つである。

- ① 制作するウェブサイトを通じて、西南学院大学からの留学経験者や海外協定校の学生のネットワークを構築し、派遣留学や語学学習のノウハウをまとめる。また、西南学院大学への交換留学の魅力や国際性を、全海外協定校の学生や教職員の方々に伝える。本プロジェクトを通じて、発信力やチームビルディングなどのスキルを持つグローバル人材の育成に貢献する。
- ② 本プログラムの参加者に、語学力をはじめとした「発信力」、課題解決力、国籍を超えたチームビルディングを身につけてもらう。本学院からの派遣留学希望の学生に、海外の大学での学習で活躍するためのスキルを身につけてもらう。
- ③ 海外派遣留学経験者や別科留学生を巻き込み、これから海外派遣留学や西南学院大学での学生生活に挑戦する学生に向けたサポートを行い、学部や学年を超えた協力関係を築く。

まず、留学情報に関して、高い水準の閲覧数と、コンテンツの種類と質を達成できたと考えられる。ホームページへの月間アクセス数1000は未達成ながらも、ブログ、InstagramとYouTubeで適切な媒体を選択して留学情報を発信できた。留学中の学生5名に取材した留学情報を、画像やLiveを用いて発信する「留学now」や、派遣留学を経験して帰国した学生8名による「留学体験記」を動画で配信している。さらに、現在留学中のSGSスタッフが、ブログ形式で現地の生活や留学準備の情報を発信している。留学に関する情報を、最も効果的で、正確に発信できる方法を検討しながら進められている。

語学力や授業形式でのイベント実施に強い需要が見られなかったため、海外協定校2校との継続したイベント運営を行った。8月に実施した語学学習のためのイベントでは、定員90名のうち、応募者が30名と人気が少なかった。イベントを運営する際の準備量と需要を鑑みたうえで、語学イベントから交流イベントを実施する方針へと転換した。留学を目指す学生だけでなく、「気軽に交流したい」「日本語を使って海外学生と話したい」という西南生のニーズに応え、延べ108名の西南生が応募するイベントを実施できた。

本学の国際交流50周年記念行事の企画・運営に参加したことで、本学在學生や高校生が、様々な留学経験に触れる機会を提供できた。留学を経験した本学卒業生や本学教職員による国際性の議論や、在學生による留学体験記の発表と留学相談を実施し、学部・学年横断的なコミュニティ形成の一助となれたと考える。特設ホームページの公開とイベントの告知動画の作成、対面形式とオンライン配信を組み合わせたイベント開催など、新たな形でのイベント開催にも挑戦した。

<優れた成果があがった点>

活動を通して特に成果があがったと感じた点について記入してください。

SGSのホームページを公開したことにより、以下の2点における広報活動で成果をあげられた。

① イベント情報の発信について

本学オンライン留学生（2021年8月～2021年12月、2022年3月～）に対してオンライン交流イベントの情報を発信した。国際センターによる告知メールと組み合わせ、ホームページ上でイベント広報を行うことで、延べ9名のオンライン留学生がイベントに応募した。2022年7月までのオンライン留学期間に加え、留学生が来日した後もSAINSポータルやSGSのInstagramと合わせて効果的なイベント広報を行っていく。

また、60名以上の参加者を集めたSIFAの行事の経験から、大規模イベントを実施する際に会場案内やイベントの最新情報の発信、そしてオンラインのイベントへのミーティングリンクの共有などにホームページを利用できる可能性を見いだせた。

② 留学情報の発信について

派遣留学に関して、国際センターの持つ各種メディアとホームページを組み合わせた情報発信を行った。目標としていたホームページへの月間アクセス数1000は未達成だが、2021年12月には、月間アクセス数640回、そしてプロジェクト期間中には合計1849回のアクセス数を数えた（2022年3月現在）。中でも、現在留学中のSGSスタッフによるブログ「留学日記」は、現在2名の学生による定期更新を続けている。合計で8本のブログ記事で閲覧数1269回を数える人気企画になっている。本学学生から、「2022-2023の派遣留学B日程に申し込む際に、留学日記のコンテンツが参考になった」との声も受けとった。将来的に、学生目線から発信する留学情報を蓄積し、様々な媒体で発信している留学情報を一元的に管理できるようなページに発展させていく土台を構築できた。留学を目指す西南生やその保護者、更には西南学院大学への進学を目指す高校生に向けて更なる情報発信を行えるように、定期的に正確な情報を公開できる体制を作っていくことを目標とする。

3. その他

実際に取り組んでみた感想や今後取り組んでいきたいことなど、自由に記入してください。

当初、語学イベントや海外協定校の学生との共同授業を行うことを目標としていた。しかし、派遣留学を目指して準備をする学生のニーズを把握できなかった。代わりに、オンラインでの交流イベントの拡張や、国際交流事業50周年記念イベントに携われたことで、学院の国際性を広く伝えることができたと感じている。中でも、50周年イベントでは、派遣留学経験者が年代や学部を超えて交流できる機会を作れたことに大きな達成感を持った。4月から社会人となった後も、大学教授や大学事務室、卒業生の方々とイベントを運営した経験を活かしていきたい。

本プロジェクトは、これからも幅広い関係者への留学情報の発信を継続することを目標とする。2021年2月から、25期のSGSスタッフ8名がイベント情報を更新し、そしてそのうち3名が留学情報やブログの更新を行っており、本プロジェクト終了後も継続して運用する体制を構築できた。ホームページを定期的に更新しSEO対策を行うことで、検索エンジンからヒットする信憑性の高いホームページの構築を目標とする。

2022年8月以降は国際センターからの予算援助を受け、学生が主体となって、イベント情報や留学情報を継続して発信できる環境を整備できた。これからは、大学職員の立場として、本学学生による派遣留学のノウハウを蓄積できるような活動に対して必要な支援を続けていきたい。